

## 「2014年秋の大会」(京都大学 吉田キャンパス) 交通案内

【アクセス】京都大学 HP 参照 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access>



### バスをご利用の場合

JR 東海道線「京都」駅より 市バス [ 206系統 ] 東山通 北大路バスターミナルゆき35分・230円

京大正門前 下車徒歩5分

阪急京都線「河原町」駅より 市バス [ 201系統 ] 祇園 百万遍ゆき25分・230円

京大正門前 下車徒歩5分

京阪鴨東線「出町柳」駅より 市バス [ 201系統 ] 祇園 みぶゆき10分・230円

京大正門前 下車徒歩5分

京都市地下鉄「今出川」駅より 市バス [ 201系統 ] 祇園 みぶゆき15分・230円

京大正門前 下車徒歩5分

### タクシーをご利用の場合

JR 東海道線「京都」駅から約25分・約2,500円

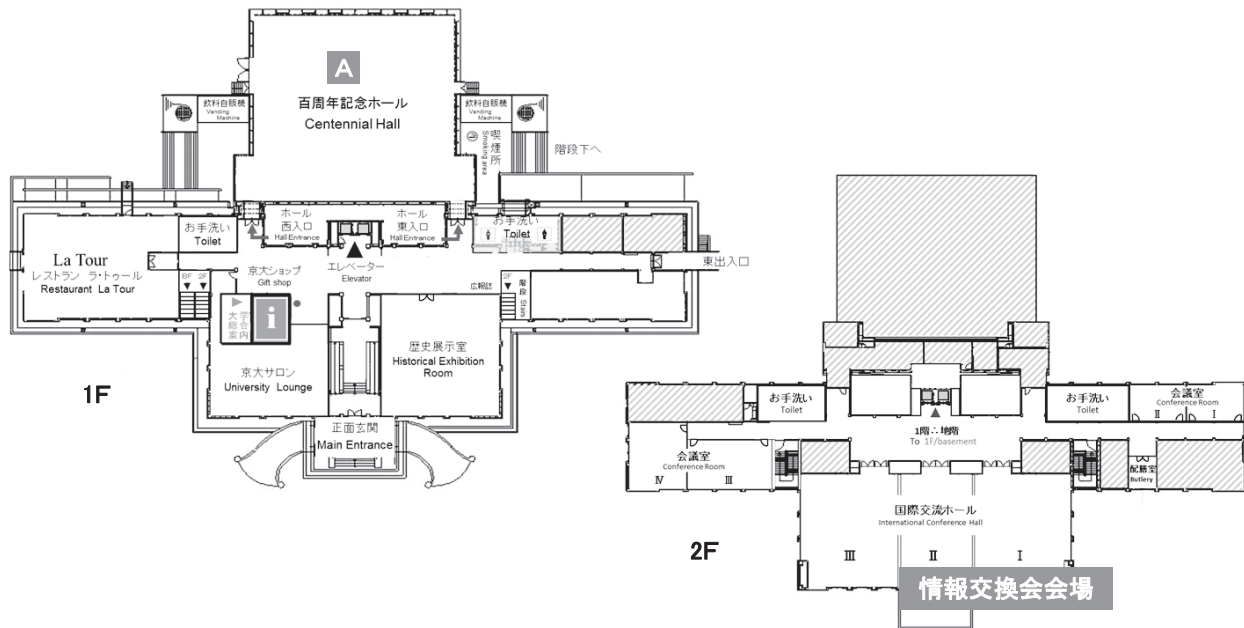
阪急京都線「河原町」駅から約15分・約1,500円

大学の駐車場は利用できません。自家用車でのご来会をご遠慮ください。

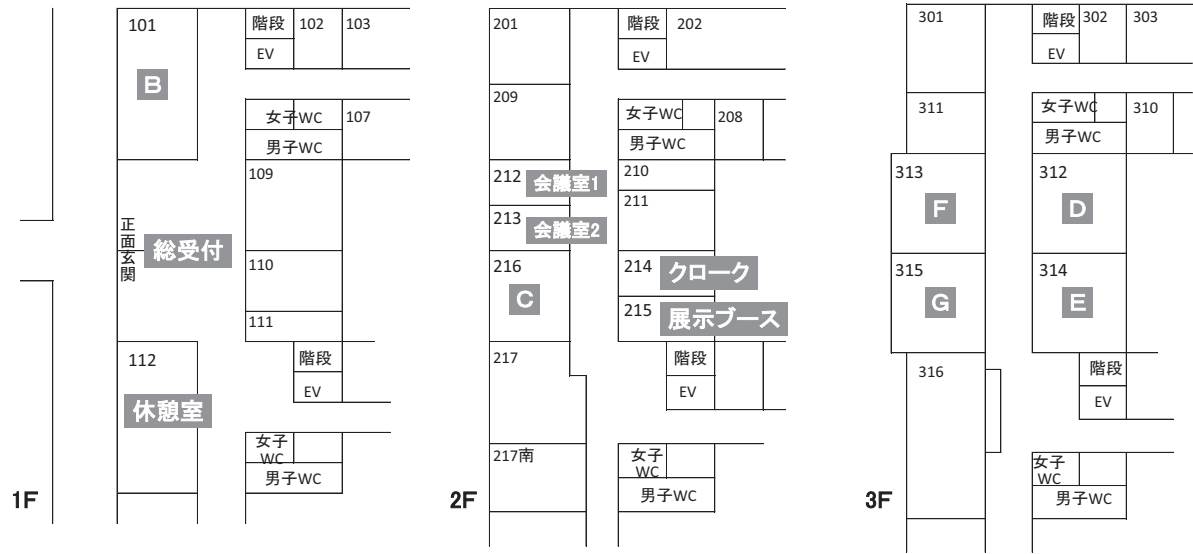
# フロアマップ



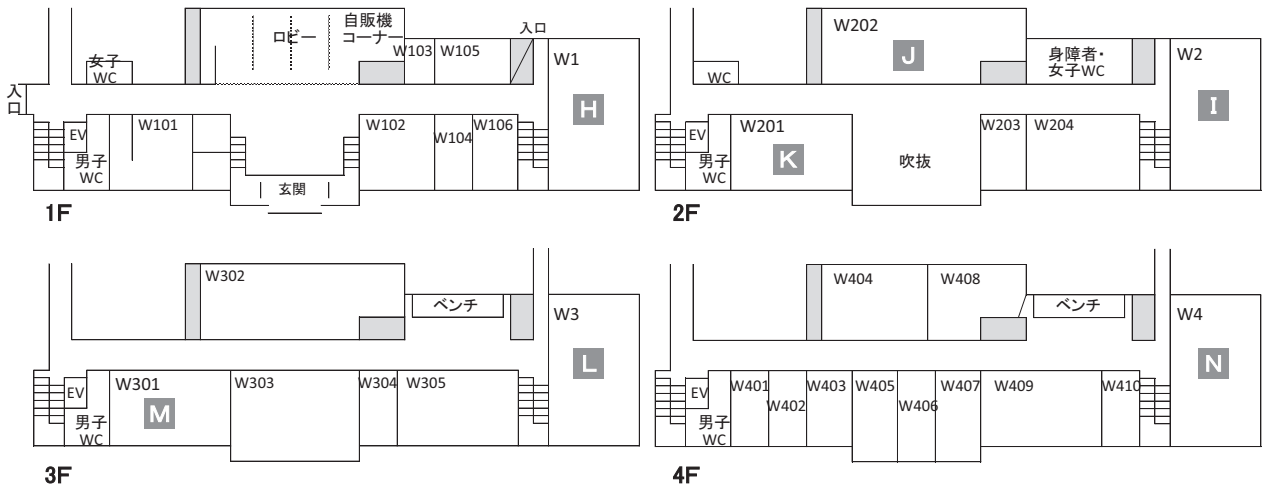
## <百周年時計台記念館>



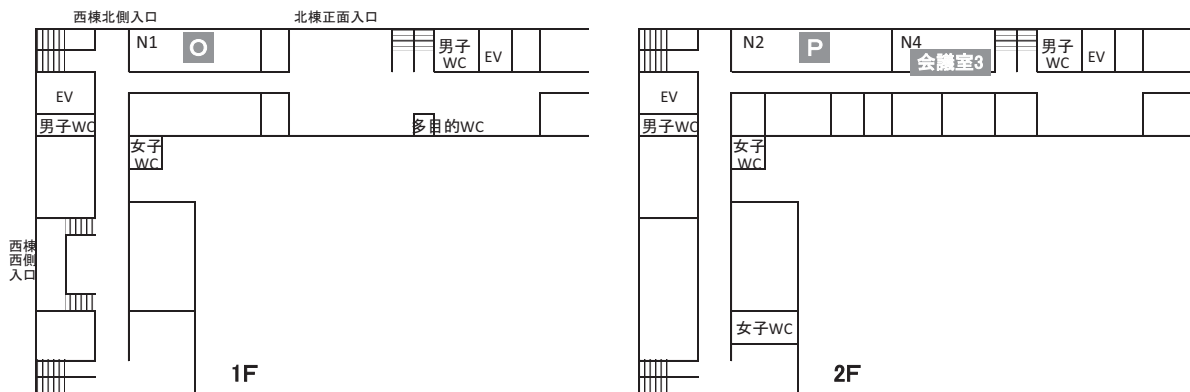
<物理系校舎>



<工学部3号館>



<工学部3号館北棟>



分類項目別・発表件数一覧

(2013年9月 改編)

区分	コード	専門分野	2014秋 (京大)	区分	コード	専門分野	2014秋 (京大)	
第 総 論	101-1	エネルギーセキュリティと環境・社会情勢	32	第 核 燃料 サイ クル と 材 料	401-1	基礎物性	11	
	101-2	原子力の法工学と政治学および地域社会			401-2	核燃料とその照射挙動	19	
	101-3	原子力の安全文化とリスクマネジメント・品質保証			402-1	炉材料とその照射挙動	24	
	101-4	原子力の経済学			402-2	照射技術・分析技術	2	
	101-5	対話・コミュニケーションと社会意識			403-1	原子炉化学, 放射線化学, 腐食化学, 水質管理	11	
	101-6	エネルギー・原子力教育と人材育成			404-1	同位体分離, 同位体応用, ウラン濃縮	0	
	101-7	原子力の哲学・倫理			404-2	核化学, 放射化学, 分析化学, アクチノイドの化学	6	
	102-1	核不拡散・保障措置・核セキュリティ			404-3	燃料再処理	29	
	小計						32	
第 放 射 線 工 学 と ビ ー ム 科 学	201-1	原子核物理, 核データ測定・評価・検証, 核反応工学	30	第 核 融 合 工 学	405-1	放射性廃棄物処理	59	
	202-1	放射線挙動, 遮蔽工学	6		405-2	放射性廃棄物処分と環境	58	
	202-2	放射線物理, 放射線計測	24		405-3	原子力施設の廃止措置技術	27	
	202-3	中性子源・中性子工学	4		406-1	計量管理, 保障措置技術	1	
	203-1	加速器・ビーム加速技術	13			小計	247	
	203-2	ビーム計測	2		第 保 健 物 理 学 と	501-1	プラズマ工学(慣性核融合を含む)	0
	203-3	ビーム利用・ターゲット	11			501-2	核融合炉材料工学(炉材料, ブランケット, 照射挙動)	29
	203-4	放射光, レーザー	3			501-3	トリチウム工学(燃料回収・精製, 計測, 同位体効果, 安全取扱い)	13
	203-5	医療用原子炉・加速器	2			501-4	核融合機器工学(第1壁, ダイバータ, マグネット等)	11
		小計	95			501-5	核融合中性子工学	1
			501-6	核融合炉システム・設計・応用		0		
第 核 分 裂 工 学	301-1	炉物理, 核データの利用, 臨界安全	33	第 保 健 物 理 学 と	601-1	放射線の医学・生物学への応用(核医学, 生物影響を含む)	80	
	301-2	炉設計と炉型戦略, 核変換技術	13		601-2	放射線(能)測定, 線量計測		
	301-3	研究炉, 中性子応用	0		601-3	放射線管理		
	302-1	新型炉システム	20		601-4	環境放射能		
	303-1	原子炉計測, 計装システム, 原子力制御システム	2		601-5	線量評価・環境安全評価(気象, 地球環境を含む)		
	303-2	遠隔操作, ロボット, 画像工学	1		601-6	放射線防護の理念と基準		
	303-3	ヒューマンマシンシステム, 高度情報処理	4		601-7	環境修復		
	304-1	伝熱・流動(エネルギー変換・輸送・貯蔵を含む)	94			小計		80
	305-1	原子炉機器, 輸送容器・貯蔵設備の設計と製造	0					
	305-2	原子炉の運転管理と点検保守	4					
	305-3	原子炉設計, 原子力発電所の建設と検査, 耐震性, 原子力船	2					
306-1	原子力安全工学(原子力施設・設備, PSAを含む)	73						
307-1	計算科学技術	13						
	小計	259				合計	767	

参加料

		会員(不課税)			非会員(税込)	
		正会員	学生会員	シルバー会員	非会員	学生非会員
登壇者	事前(4月25日まで)	10,000円	2,000円	3,000円		
	当日(4月26日以降)	12,000円	4,000円	4,000円		
聴講者	事前(7月23日まで)	10,000円	2,000円	3,000円	15,000円	5,000円
	当日(7月24日以降)	12,000円	4,000円	4,000円	15,000円	5,000円

参加料には予稿集 CD-ROM 1枚が含まれています。  
 シルバー会員は学会在会期間30年以上で満70歳以上の方です。  
 会場にはプリントアウトの設備はありませんのでご注意ください。

予稿集 CD-ROM 正会員・学生会員・賛助会員 定価: 本体8,000円 + 税, 一般 定価: 本体10,000円 + 税

お問い合わせ・申込み先 日本原子力学会 2014年秋の大会係  
 電子メール: meeting@aesj.or.jp ホームページ: http://www.aesj.or.jp  
 電話: 03-3508-1261 FAX: 03-3581-6128  
 (〒105-0004) 東京都港区新橋 2-3-7 新橋第二中ビル 3階

## 情報交換会

日時：2014年9月8日（月） 18：30～20：30

場所：京都大学 吉田キャンパス 百周年時計台記念館2F 国際交流ホール1-2

（〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 Tel：075-753-2285）

会費：一般5,000円，学生2,000円（同伴配偶者は無料）

定員：120名

お申し込みは、氏名（ふりがな）・申込区分（一般・学生）・所属・連絡先を記入の上，8月22日（金）までに本会事務局へ E-mail または FAX にてお送りください。（FAX：03-3581-6128，E-mail：meeting@aesj.or.jp）

### 個人情報について

本情報交換会の申込みに伴いご提供いただく個人情報は、本情報交換会の参加者名簿作成および本人確認に利用するもので、それ以外の目的では一切利用いたしません。

## 展示会のご案内

本会関係企業・大学・研究機関等による展示会を実施しております。発表会場近くにブースを設置し、研究・製品紹介や、ポスター展示などを行っておりますので、ぜひ足をお運びください。

展示期間：2014年9月8日（月）～10日（水）

場所：「2014年秋の大会」会場内 物理系校舎2F 215教室，2F・3F 通路

出展機関：三菱重工業株式会社

独立行政法人 日本原子力研究開発機構 産学連携推進部

独立行政法人 日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所

原子力コードセンター（RIST，JAEA，OECD/NEA-DataBank，RSICC）

アイリス株式会社

独立行政法人 放射線医学総合研究所

京都大学エネルギー理工学研究所 ADMIRE 計画

ジオサーフ株式会社

（敬称略，順不同）

## 「2014年秋の大会」見学会

### ○Aコース（京都大学コース）

開業以来100年以上にわたって収集してきた貴重な学術標本資料を収蔵する京都大学総合博物館は、日本最大規模の大学博物館です。この見学会では特別展「明月記と最新宇宙像」を特別に館員の解説つきで、常設展（自然史、文化史、科学史）を自由に見学していただきます。学生・若手の方々の積極的な参加をお待ちしております。

見学先：京都大学総合博物館

見学施設：特別展（館員解説つき）および常設展

開催日：9月10日（水）大会最終日

集合：京都大学総合博物館前（総合受付から徒歩5分）

コース：集合（13:00）- 館員解説（13:15）- 自由見学（13:45～14:15）- 解散

定員：20名（原則として先着順）

参加費：無料

申込〆切：8月22日（金）

注意事項：

- ・教育目的の特別観覧ですので、申込者多数の場合は学生と若手の方を優先いたします。

### ○Bコース（日本原子力発電コース）

原子力発電所の再稼働に向けて、耐震安全性が大きな課題となっています。今回は、日本原子力発電（株）敦賀発電所で、敷地内破砕帯調査現場を中心に見学していただきます。特に、普段現場を見る機会の少ない学生や若手の方々の積極的な参加をお待ちしております。

見学先：日本原子力発電株式会社 敦賀発電所

見学施設：敷地内破砕帯調査トレンチ、1号機原子炉建屋内（非常用復水器等）、安全性向上対策資機材置場、他

開催日：9月11日（木）大会終了翌日

集合：JR 京都駅八条西口

コース：集合（8:15）- 出発（8:30）- 敦賀原子力館着（11:45）- 挨拶・説明・昼食（11:45～12:45）- 発電所構内見学（12:45～15:50）- 質疑（15:50～16:20）- 敦賀原子力館発（16:30）- JR 敦賀駅（17:30）- JR 京都駅（20:00）解散

参考 敦賀駅18:10発しらすぎ62号 新幹線 東京駅21:10着

定員：30名（先着順）※参加者10名以下の場合は中止といたします。

参加費：1,000円（昼食代含む）

申込〆切：8月15日（金）

注意事項：

- ・サンダルやヒールの細い（高い）靴での入場はできません。
- ・発電所入講にあたっては、身分証明書（運転免許証・パスポート・顔写真つき住基カード、いずれもなければ保険証原本＋住民票原本 発行から6ヶ月以内）を確認させていただきますので、必ずご持参をお願いいたします。身分証明書をお忘れになりますと、見学をお断りさせていただきますので予めご了承ください。
- ・発電所構内は写真撮影禁止です。
- ・発電所入構の際、核物質防護の観点より手荷物の持ち込みはお断りいたしております（発電所構外の敦賀原子力館にて保管させていただきます）。

見学を希望される方は、希望コース名（A・B）、氏名（ふりがな）、性別（Bコースのみ）、生年月日（西暦で）、所属、役職（学生は課程と学年）、住所（Bコースは身分証記載の住所）、連絡先（電話、FAX、E-mail）、国籍（Bコースで外国籍の場合）を明記して、本会事務局へ、E-mail または FAXにてお申し込みください。（E-mail：meeting@aesj.or.jp、FAX：03-3581-6128）

外国籍の方は、パスポートの国籍・顔写真・住所がわかるページのコピーも添付してください。

見学の申し込みにあたっていただいた個人情報は、見学会以外の目的には使用しません。

本会ホームページでもご案内しております。

現地委員会 - 27名 - ( は委員長。敬称略, 順不同)

(京大) 伊藤秋男, 安部 豊, 石井裕剛, 今井 誠, 大垣英明, 笠田竜太, 木村晃彦, 功刀資彰, 佐々木隆之,  
佐野忠史, 下田 宏, 高木郁二, 中島 健, 野平俊之, 藤井俊行, 堀 順一, 横峯健彦, (阪大) 北田孝典,  
山中伸介, (阪府大) 古田雅一, (近畿大) 若林源一郎, (福井大) 泉 佳伸, 山野直樹, (関原懇) 横山拓道,  
(INSS) 藤村公也, (原子力エンジ) 巽 雅洋, (MHI) 松本英樹

「2014年秋の大会」プログラム編成ワーキンググループ - 72名 - ( は主査, \*は部会等運営委員。敬称略, 順不同)

大江俊昭(東海大)	小林容子(規制庁)	*木村祥紀(JAEA)	山本隆一(JAEA)	*三島 毅(大林組)
岩本 修(JAEA)	奥野功一(安藤・間)	河原林 順(名大)	助川篤彦(JAEA)	*千葉 豪(北大)
*伊藤主税(JAEA)	芳原新也(近畿大)	増田 開(京大)	遠藤知弘(名大)	太田宏一(電中研)
河野尚幸(日立)	下田 宏(京大)	杉野和輝(JAEA)	*守田幸路(九大)	山路和也(MHI)
木藤和明(日立)	桐本順広(電中研)	栗田智久(東芝)	*中野 浩(東京電力)	西 義久(電中研)
波津久達也(東京海洋大)	光安 岳(日立)	和田健一(原電)	大賀幸治(日立GE)	*岡田敬三(MFBR)
神山健司(JAEA)	河北孝司(MFBR)	*北田孝典(阪大)	北村康則(JAEA)	近澤佳隆(JAEA)
西田浩二(日立GE)	村上健太(東大)	山野秀将(JAEA)	稲垣八穂広(九大)	岩井岳夫(山形大)
河村浩孝(電中研)	高阪裕二(NDC)	鈴木達也(長岡技科大)	田中宏和(三菱マテリアル)	寺地 巧(関西電力)
藤井直樹(原環セ)	目黒義弘(JAEA)	矢野康英(JAEA)	山本誠二(東芝)	稲垣 学(NUMO)
北村高一(JAEA)	斉藤拓巳(JAEA)	三枝博光(JAEA)	田中康介(JAEA)	樋口 徹(NFD)
*飯塚政利(電中研)	川崎 透(日立GE)	北辻章浩(JAEA)	黒崎 健(阪大)	根本義之(JAEA)
根山敦史(MHI エンジ)	野上雅伸(近畿大)	星野美佐男(電源開発)	近藤正聡(東海大)	武田信和(JAEA)
谷川 尚(JAEA)	土屋 文(名城大)	*遊佐訓孝(東北大)	荻野晴之(電中研)	小嵐 淳(JAEA)
栗原 治(放医研)	平尾茂一(名大)			

本会「春の年会」,「秋の大会」発表論文の新規性

本会主催の「春の年会」,「秋の大会」等において, 予稿, 図面等の文書をもって発表された発明または考案は, 特許法第30条(発明の新規性の喪失の例外)2項により, 6ヶ月以内はその新規性が喪失せず, 特許出願できます。

\*平成24年4月1日付で特許法改正法が施行されたことにより, 「特許庁長官が指定する学術団体」の指定制度が廃止されました。















- (1) 安全性向上対策の意思決定プロセスの課題
- (2) 決定論的評価と確率論的評価の統合の課題
- (3) 安全性向上対策採用に係る海外事例検討
- (4) 総合討論

(関西電力)成宮祥介  
(電中研)山下正弘  
(原安進)鎌田信也  
司会:(東大)関村直人

## そ の 他

### . 第 回フェローの集い

(9月10日(水) 13:00~14:30, B会場) 座長(フェロー企画運営小委員会委員長)河原 暲

- (1) 「学会フェローの立ち位置」の論点

(フェロー企画運営小委員会委員長)河原 暲

- (2) 関西 2014 年夏の電力事情

(関西電力)高杉政博

### . 文部科学省 原子力競争的資金(イニシアティブ)の紹介

(9月9日(火) 12:00~13:00, C会場) 座長(JST)日紫喜 豊

文部科学省 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブについて

(JST)本間 清